



さくら花

重点：4つのあ
 ●あいさつ ●あんぜん
 ●あい読書 ●あとしま

**+ 「何かできたり」
正しいことば**

令和3年2月17日(水)発行

さくら満開ステージ

2月3日(水)の昼休みに「第2回さくら満開ステージ」を行いました。今回も、交流ホールは満員御礼。4～6年生の発表で、大いに盛り上がりました。

また、この日は、学校評議員の方々にもご覧いただきました。とても素晴らしい発表だったと大好評でした。進んで発表してくれた皆さん、準備してくれた集会委員会の皆さん、今回も楽しい集会をありがとうございました。

- 【演目】
- ① 歌「ひまわりの約束」：S. Rさん (4松)
 - ② 歌&伴奏「夏祭り」：K. Hさん (5松) & M
 - ③ ドリームハーモニーの演奏「裸の心」
 H. Mさん (6松)、S. Mさん (6松)、H. Mさん (6竹)、F. Mさん (6竹)、
 K. Yさん (6松)、M. Mさん (6松)、S. Rさん (6竹)、S. Mさん (6梅)
 - ④ 歌&合奏「涙そうそう」：6年梅組のみなさん

豊かな声量で、堂々と歌いきりました!

ちゃっかり、部員の勧誘も・・・

マスク越しに、美しい歌声を披露!

息のあった素晴らしい歌と演奏!

さすが全国大会出場、美しい音色が響き渡りました!

6梅のチームワークを演奏で表現!

提灯絵付け体験 (4年生)

2月2日(火)、今年も今野木工所の今野さんが、4年生を対象に「提灯絵付け体験」を行ってくれました。はじめに、今野さんから絵付けの仕方を教えていただき、さっそく絵付け。表面のデコボコや曲面に苦労しながらも、思い思いのオリジナル提灯を完成させることができました。

- ・最初は、すごくむずかしかったけど、こうすればいいよと今野さんが教えてくれたので、つまくぬれるようになりました。提灯の絵付けは初めてだったけど、いろいろためしながら絵や文字をかいたら、すごく楽しかったです。(4松 S. Hさん)
- ・今野さんの話を聞いて、人はやらないとできるようにならない。1回では成功できない。100回くらい何度もやって成功できるものだとわかりました。作った提灯は自分の部屋において、中学生になってもわすれないで、大事にしていきたいです。(4竹 I. Dさん)

はじめに、下書き

ていねいに色づけ

オリジナル提灯、完成!

がんばりました！弁当づくり

2月8日(月)、角館地区の上水道の不具合により延期した「弁当の日」を実施し、5・6年生が、自分で弁当づくりに挑戦しました。

この日に向けて、家庭で調理の練習をしたり、前日から買い物や下ごしらえをして当日を迎えたり、朝早くから準備を始めたりした子どももたくさんいたようです。おうちの方のアドバイスや援助をいただきながらも、一人一人が一生懸命弁当づくりに挑戦してくれました。今回初めて挑戦した5年生も、おうちの人の力も借り、悪戦苦闘しながらも一生懸命取り組んでくれたようです。

お昼には、互いのがんばりを認め合い、讃え合いながら、お腹も、心も大満足。笑顔満開でした。ご協力、ありがとうございました。



5年生は、初めての弁当の日で大喜び!

【子どもたちの感想から】

- お弁当を作ってみて、一番むずかしかったのは卵焼きです。卵をひっくり返すのがむずかしかったです。一番手間がかかったのは、ポテトサラダです。いろいろな工程があって、むずかしかったです。でも、自分でがんばって作った弁当だったので、とてもおいしかったです。(5松 Y.Kさん)
- 弁当を作ってみてむずかしかったことは、卵焼きをやることです。卵をまく時に、少し形がくずれてしまっただけで、手伝ってもらいながらまくことができました。あと、家庭科で習ったことを生かして、ほうれん草を切ったり、しばったりできました。(5松 K.Cさん)
- 卵焼きなど、うまく作れるか不安だったけど、思ったよりもだいぶうまく作れました。卵焼きは、甘さ加減がちょうどよく作れました。いろいろな物がうまく作れたから、これからも作りたいと思いました。(5竹 S.Rさん)
- 一番むずかしかったのは「そばろ」で、特にむずかしかったのは味付けです。だけど、お母さんにやり方を教えてもらって、できたのでよかったです。食材の大切さや、朝どんなにたいへんかが、弁当を作ってわかりました。とても楽しい弁当作りになって、よかったですと思いました。(5竹 S.Kさん)
- お母さんと前の日から準備をして、次の日に朝早く起きて作りました。特に、卵焼きを作るのが、とてもたいへんでした。お母さんに教えてもらいながら、うまく作れたと思います。今度は、他のおかず作りにも挑戦したいです。(5梅 T.Sさん)
- タンパク質や炭水化物などのバランスを考えて作ることができました。タマネギやにんじんの切り方、プロットコリーのゆで方など、今までの授業で習ったことを生かして、弁当を作ることができました。今度は、もっといろいろな物を作りたいです。(5梅 T.Nさん)
- ぼくは買い出しからやりました。家に帰ってから、まずからあげをあげました。入れた時の音は好きだけど、油が飛んで熱かったです。弁当にご飯も入れるつもりだったけど、具を作りすぎたのでおにぎりにしました。とてもおいしかったです。今度はカツ丼などを作りたいです。(6松 S.Mさん)
- 卵焼きを最近やっていなくて、こげたりうまく巻けなかったりして、2回やりました。2回目はうまくできたのでよかったです。お肉を焼いている時、油がめっちゃ飛んで熱かったです。お母さんはいつも料理をしている時に、たいへんな作業をしていることがわかって、すごいなと思いました。(6松 S.Rさん)
- お弁当を作っている時にたいへんだったことが2つあります。1つ目は、エビをあげる時に油が飛びちったときです。2つ目は、卵焼きに目と口をくっつけることが難しかったです。(6竹 N.Yさん)
- じゃがいもをむくときは、皮をつすくむくことができなかったけど、むいているうちに上手にむけるようになってよかったです!野菜を細かく切る時は、ピーマンを切るのに苦労しました。(6竹 F.Mさん)
- このお弁当を母といっしょに作って気づいたことは、料理は難しいということと、母はすごいということです。母は、いつもぼくたちのために料理を作っていたから、ぼくは料理をちゃんと食べていきたいです。(6梅 K.Tさん)
- 自分でオムライスを作るのがとてもたいへんでした。ですが、自分一人でやりきることができ、とてもうれしかったです。大人になって弁当を作る「機会」も増えてくると思うので、今からいろいろな物を作るようにしておきたいと思いました。(6梅 T.Mさん)

【保護者の感想から】

- お米をといで、ご飯を炊くところから盛り付けまで、全部自分一人ががんばりました。料理の楽しさや大変さを実感できた、よい機会になったと思います。(5松 保護者)
- 冷凍食品を使わず、全て自分で作っていました。私に聞いたり、クックパッドを見たり、とても楽しそうでした。(5竹 保護者)
- 買い物からスタートし、使用する食材選び、前日の夜から準備をしたりと、この学習を成功させるために「計画」を立てる事が大切と学んだようです。感想を聞いたら、「自分ができると思ってなかったから、お弁当が完成した時びっくりした」と。親子のステキな時間でした。(5梅 保護者)
- 小学校最後のお弁当の日ということで、私も娘も楽しんで作ることができました。ひと通り自分でできたと思います。改めて、成長を感じ、嬉しさでいっぱいです。ありがとうございました。(6松 保護者)
- 自分でメニューを考え、ハンバーグは弁当の日よりも前に一度練習をしました。祖母からこねる時のコツを聞いて、びっくり美味しくできました!ゆで卵のギザギザカットは、糸と爪楊枝を使う方法を祖母から教わっていました。これからは、ぜひ自発的にチャレンジして欲しいと思います。(6竹 保護者)
- お弁当の日は、私のお昼休みもすごく幸せな時間になります。回を重ねるたびに、娘の腕が上達しているのもわかり、成長が感じられるからです。失敗したと言っている卵も、とてもおいしかったよ。また作ってください。(父より)(6梅 保護者)



6年生は、3回目の弁当の日。料理や盛り付けもすっかり上達し、笑顔満開!